

関西国際空港

関西国際空港の開港を記念して、1994年(平成6)9月2日に、連刷2種を字f組む3種の切手が発行されました。切手の意匠は、関西国際空港の鳥観図によりそれが海上空港であることと、大型旅客機(ボーイング747-400)により国際空港であることを表現しています。



関西国際空港開港記念 FDC(郵便文化振興協会版) 記念特印 堺 6. 9. 2



UMAGAKI/AKITA
20. XII. 94



神奈川・山北岸 6. 9. 2(初日)



石神井
6. 9. 16

郵便切手の歩み「芦ノ湖航空」

1995年(平成7)5月25日、「郵便切手の歩み」シリーズ第4集2種が発行されました。このシリーズは初の「切手の中の切手」図案です。第4集ではそれぞれ、「芦ノ湖航空」8½銭切手と航空郵便開業当時の記録写真を組み合わせたものです。



郵便切手の歩み第4集記念FDC(郵便文化振興協会版)
記念特印 立川 7.5.25



UNAZUKI/TOYAMA
14. X. 95



659 MID(RI)GAOK-
29. V. (9)6



広島・八本松
7. 6. 1

郵便切手の歩み「芦ノ湖航空」



北海道当麻 7.9.27



OGAWA/NARA
30.X.95



多(治見) 7.6.15

第1種書状配達日指定便 110円
 書状 20g まで 80円、配達日(平日)指定料金 30円
 ※配達日指定郵便は 1980年6月からサービス開始
 立川 7.5.25

模型航空世界選手権

1995年(平成7)8月25日、人の乗らない小型航空機の飛行競技会が、岡山県笠岡市で開催されました。これを記念して2種の切手が発行されました。50円切手にはラジオコントロール・飛行機と無線操縦送信機が描かれています。



OKAWA/FUKUOKA
4. IX. 95



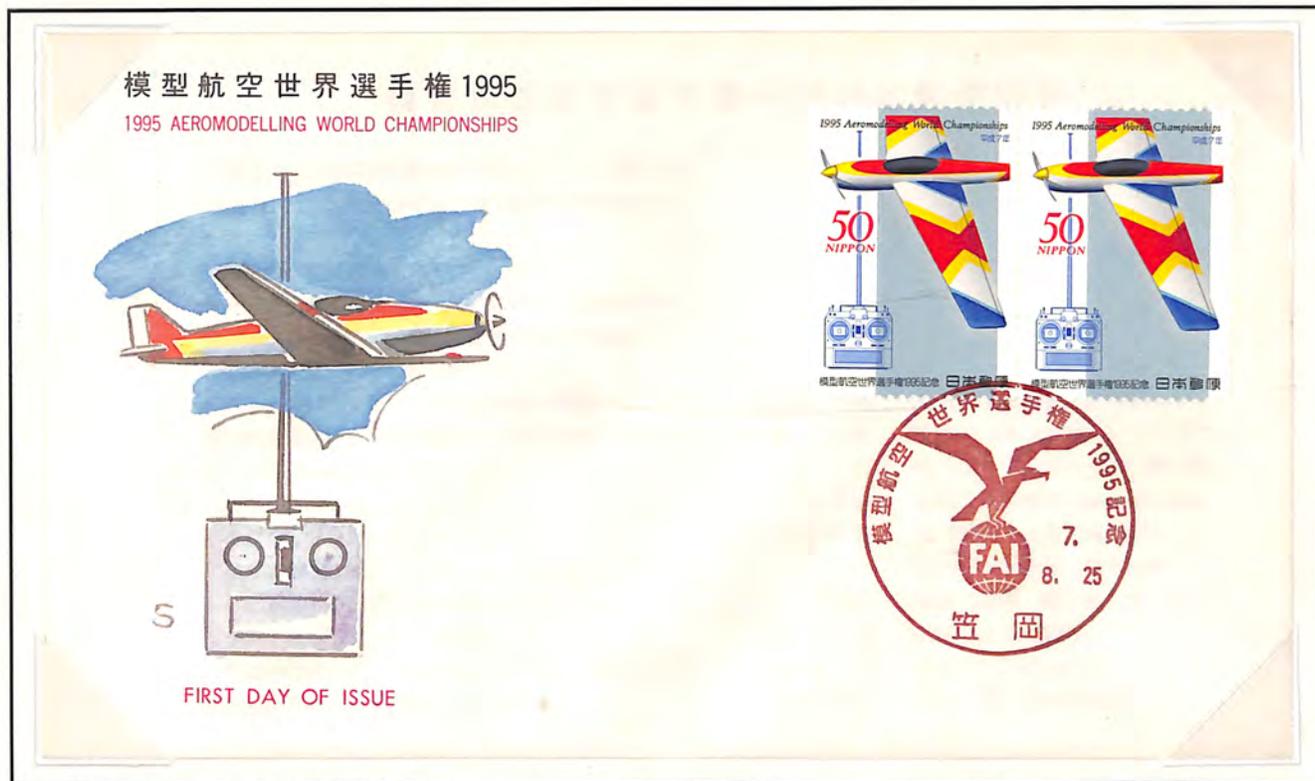
三重・伊賀
7. 9. 4



選挙
(東京中央)



中原
95. 10. 6



民間航空 50 年

民間航空が1952年(昭和27)に再開されてから50周年を迎えました。2002年(平成14)9月6日、駐機する4発プロペラ旅客機(ダグラス DC-3 型機)と、航行する双発ジェット旅客機(ボーイング 747 型機)を描く記念切手を発行しました。



民間航空再開 50 周年記念切手 FDC(創作版画版) 記念特印 東京中央 14. 9. 6
※カシエは木版画家・福岡県出身の深田明弘氏(1963~)の作。



飯塚
02. 10. 2



多賀
14. 9. 9



愛媛・小松
14. 11. 6



日吉駅内
14. 11. 5

中部国際空港

2005年(平成17)2月1日、中部地方における国際的な航空拠点として、中部国際空港の開港を記念する切手が発行されました。図案には、大型旅客機(ボーイング777型機)とセントレアバーズテイという名の花が描かれています。



愛知・緑
05.5.31



静岡・葉梨
17.12.2



富山北
17.9.6



伏見

中部国際空港開港記念



Cartor Security Printing
平成17年2月1日

南極観測 50 年

1957年(昭和32)1月、第1次南極観測隊が昭和基地を開設して南極地域の観測を始め、オゾンホールを発見しました。2007年(平成19)1月23日、観測開始50周年を記念して10種の記念切手と同図案のシール切手が発行されました。その中には、観測に欠かせない飛行機が描かれています。



佐賀北
25.3.15



横浜中央
07.2.1



南極地域観測開始 50 周年記念切手 FDC (JPS 版)
記念特印・ハト入り丸型印 横浜中央 19.1.23



50th Anniversary of the Japanese Antarctic Research Expedition
南極地域観測事業開始50周年記念

南極地域観測事業開始50周年記念シール切手切手FDC(鳴美社版)
横浜中央 19. 1. 23(記念特印・ハト入り丸型印)、東京・港芝浦(風景印・丸型印)

南極観測事業開始50周年
50th Anniversary of the Japanese Antarctic Research Programs
First Day of Issue

航空 100 年

2010年(平成22)9月21日、日本の航空100年を記念して、航空史に重要な足跡を残した飛行機を描く10種の切手が発行されました。

【MRJ】

Mitsubishi Regional Jet の略で、三菱重工業が開発した、低燃費で静かな航行を実現した地域間ジェット旅客機。

【B747-400】

1969年に登場した、「ジャンボジェット機」で、JALやANAをはじめ、世界中で広く運用されました。

【飛鳥】

1970年代から1980年代初頭の大型ジェット旅客機。JALのボーイング747-100の愛称。

【航研機】

国産の長距離飛行用の実験機で、1938年5月、周回航続距離の世界記録を作りました。

【アンリ・ファルマン
複葉機】

フランス製の複葉機で、1910年、日本初の有人飛行で使われました。

The 100th Anniversary Aviation in Japan 航空100年記念



【HSTP】

High-Speed Transport Protocol の略で、速度と輸送能力に注力した試作機。

【US-2】

日本の防衛省が運用する水陸両用の飛行機で、特に救難活動や災害対応に特化しています。水面での離着陸が可能。

【T-4】

1985年に初飛行した自衛隊の中等練習機で、パイロットの基本的な練習に使われています。

【YS-11】

日本初の国産旅客機として1962年に開発され、国内外で広く運用されました。

【ハンス・グラウテ
単葉機】

1910年代にドイツで開発された初期の単葉機。当時主流の複葉機に比べ、高速性と効率性に優れていました。



西〇 22. 10. 18



名古屋 10.10. 2



松戸 22



上福岡 25. 2. 14



東室蘭 22. 10. 28



米子 10. 11. 26



児島 22. 10. 30



釧路西 22. 10. 1



淀川 23. 4. 20



堺 22. 10. 12



杉戸 24. 12. 3



大崎 22. 11. 23



大阪 (10). 10. 6



新〇 22. 10. 20



江戸川 -. 11. 3



帯広 22. 11. 22



広島・鈴張 23. 8. 30



浜松西 22. 10. 2

東京国際空港 80 年

1931年(昭和6)8月25日、羽田に民間機専用の東京飛行場(現在、東京国際空港)が開港しました。

開港80周年の記念日に、新旧の管制塔、空港平面図と飛行機(ボーイング777型機)を描いた切手4種が発行されました。



登別 23. 10. 14



古賀 23. 10. 12



豊島 24. 3. 15



日本橋 23. 11. 21

The 80th Anniversary of Tokyo International Airport
東京国際空港開港80周年

平成23年8月25日
Cartor Security Printing

※変則的シート構成、上2枚(a, b)の連刷
下8枚は別の2種(c, d)の連刷4ペア

岩国錦帯橋空港

2012年(平成24)12月13日、日本郵便中国支社は岩国錦帯橋空港の開港を記念して、ボーイング737型機など描くフレーム切手10種1組を限定1,200部発行し、岩国市近郊地域限定で発売しました。



岩国錦帯橋空港開港記念フレーム切手 FDC
岩国(風景印) 24. 12. 13

海図 150 年

1871年(明治4)に日本が単独で近代的技術をもって本格的な海図の作成作業を開始しました。2021年(令和3)に150年を迎えるに当たり、海図の作成と歴史に関わる図案の切手5種が発行されました。

その中の1種にはレーザー測深調査を行う航空機(CZMIL Nova)が描かれています。航空機から改定に向けてレーザーを発射し、海底からの反射光の到達時間を計測することにより推進を計測することができます。

海図150年

The 150th Anniversary of Nautical Charts in Japan



 NIPPON 84 海図150年 2021 令和3年	 84 NIPPON 海図150年 2021 令和3年	 NIPPON 84 海図150年 2021 令和3年	 NIPPON 84 海図150年 2021 令和3年	 NIPPON 84 海図150年 2021 令和3年
 NIPPON 84 海図150年 2021 令和3年	 84 NIPPON 海図150年 2021 令和3年	 NIPPON 84 海図150年 2021 令和3年	 NIPPON 84 海図150年 2021 令和3年	 NIPPON 84 海図150年 2021 令和3年

81814



JOH. ENSCHEDÉ STAMPS

船舶によるマルチビーム測深調査 道具(六分儀、測船、三杆) 航空機によるレーザー測深調査

● ● ● ● ● ●

現在の海図(室石港)一部分と
大型測量船「平洋」

令和3年3月12日